

2012

広報 みなみいず

7

No.505



一本ずつ ていねいに
南上小学校児童と下小野老人会「さつき会」



平成24年南伊豆町議会6月定例会が6月12日から13日まで開催され、「南伊豆町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について」など原案どおり可決されました。

行政報告(要旨)

1 防災対策

(1)平成23年度実績報告

東日本大震災の教訓を生かし、海拔調査を実施したほか、海拔表示図を作成し、町内全世帯、関係団体へ配布したところであります。

また、防災ラジオ1,000台を購入し、希望者への販売を行うとともに、非常食12,000食及び広域避難所用発電機10台の購入整備、エリアメール配信システムの導入、さらに津波監視カメラ設置工事に着手しました。

(2)南海トラフ巨大地震シミュレーション

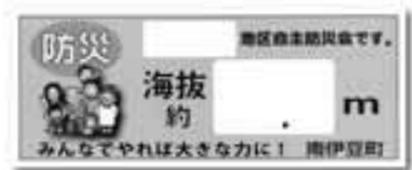
3月31日の内閣府発表の南海トラフ巨大地震では、当町の場合、最大震度6強、最高津波高25.3mという推計が示されましたが、町では今後、内閣府から示される10mメッシュの津波高及び浸水域、静岡県第4次被害想定等と整合性を図りながら地域防災計画の全面的な見直しを行うなど、更なる防災対策の充実を図ってまいります。

(3)平成24年度事業

5月1日付けで総務課内に防災室を設置し、防災係2人体制から室長以下3人体制を敷き、今後の

防災対策の強化に努めております。

平成24年度は、各家庭への海拔表示シールの配布、電柱への海拔表示板設置、各海岸地区への海拔表示案内板設置等に取り組むとともに、6月補正予算に計上の避難地・避難路整備に対する補助制度の創設など、実施可能な対策を積極的に推進してまいります。



各家庭へ配布した海拔表示シール

2 産業振興

(1)平成23年度利子補給の実績

当初半年間の予定を1年間に期間を延長し、「中小企業事業資金融資制度」に係る小口資金利子補給を実施いたしました。

利用実績は、106件の借入れに対して212万円余の利子補給となっております。

また、東日本大震災に係る緊急経済対策として、静岡県の「中小企業災害対策貸付資金制度」に係る利子補給を、町単独事業として実施しました。

「中小企業災害対策資金」に係る実績は11件の借入れに対して161万円余の利子補給、「経済変動

対策資金」に係る実績は13件の借入れに対して165万円余の利子補給となっております。

(2)プレミアム商品券発行支援の実績

商工会が、平成23年11月1日から平成24年3月10日まで町内151店舗で利用できる15%の割増付き商品券5,000万円分を発行し、町ではその発行経費の一部を助成したところですが、実績は5,719万円、99.5%の利用率となりました。

内訳は、地元商店での利用が54.4%、大型店舗での利用が45.6%で、町内商業の活性化に寄与できたものと考えております。

(3)観光客等の入込み状況

平成23年度の観光客等の入込み状況は、東日本大震災の影響もあり、宿泊施設が前年度比88.31%、観光施設が89.90%、温泉施設が92.56%となりました。

なお、「第14回みなみの桜と菜の花まつり」は、寒波の影響により開花が遅れたため、来場者は平成22年度の37万人に比べ、28%減の26万7,000人となり厳しい結果となりました。

今後は、イベントのリニューアルに係る調整や資源保護等の新たな課題も含め、関係団体等と対策を検討してまいりたいと考えております。

(4)平成24年度事業

平成24年度は、昨年度にも増して、海、山、花、温泉等、当町の豊かな自然を活用した観光シーズンの通年化と、オープンウォータースイムレース等のスポーツを核とした観光の国際化に力を注いでまいります。

また、銀の湯会館及びびみなと湯に、今年度から指定管理者制度を導入しましたが、民間経営技術の活用による利用者の増加等を期待しております。

さらに、25.3mの津波の風評被害が懸念されておりますので、観光宣伝費や観光協会が行う誘客事業「伊勢海老号」の運行支援、ジオパーク普及啓発に要する経費等を6月補正予算に計上いたしました。

今後とも、観光振興に加え、利子補給制度の活用や、商工会が行うインターネットを利用したショッピングモール等への支援などを通じて、産業の振興を図ってまいります。

3 認定こども園の運営状況

本年度の園目標を「笑顔あふれるみなみっこ」とし、子どもたちの健やかな育成に貢献できるよう入園児の保育並びに教育にあたってまいります。

また、津波等への対応としまして、近くの山林所有者の方にご理解をいただき、緊急時の避難地としてご協力いただけることを確認しております。

さらに、懸念された送迎時の交通渋滞等も、保護者の方々のご協力により目立った問題は発生していませんが、円滑な通行を確保するため、今後は石井区内14号線の拡幅等の周辺整備に着手してまいります。

観光客等の入込状況

区分	平成23年度(人)	平成22年度(人)	前年度比(%)
宿泊施設	208,033	235,580	88.31
観光施設	110,713	123,150	89.90
温泉施設	92,717	100,166	92.56
合計	411,463	458,896	89.66

4 国民健康保険税率等の改正

国民健康保険は、高齢者の加入割合の高さや低所得者層の増加等により財政が圧迫されており、当町の平成23年度決算は、単年度収支が赤字に転落しております。

また、診療報酬支払準備基金も平成23年度末での残高が4,074万円まで減少し、突発的な医療費の上昇に対応できなくなる恐れも生じております。

平成24年度は、財源確保が困難な状況になっておりますので、税率等の改正を内容とする南伊豆町国民健康保険条例の一部改正案を本定例会に提案いたしました。

この条例案は、1億1,028万円の財政支援を国民健康保険特別会計に実施し、平均改定率を9.68%とするとともに、平成25年度から各納期ごとの納付額軽減を図るため、年間6回の納期を8回に改正することも盛り込んでおります。

安定運営のため全力を尽くしてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

5 新病院開院及び高齢者通院バス料金助成事業

(1)下田メディカルセンター(SMC)及びびみなとクリニックの開院

本年5月1日開院の下田メディカルセンターは、内科や外科など15科を標榜し、常勤医師10人、非常勤医師19人、看護師等65人の陣容で、最新の高性能医療機器も備

え、質の高い地域医療を提供してくれるものと期待をしております。

また、5月2日には、なぎさ園の隣接地に、下田メディカルセンター附属びみなとクリニックも開院いたしました。本院の下田メディカルセンターと連携し、きめ細かな地域医療を担ってくれるものと考えております。

(2)高齢者通院バス料金助成事業

路線バスを利用して下田メディカルセンターへ通院される65歳以上の高齢者を対象に、通院バス料金の一部を助成する制度を設け、5月1日から施行いたしました。

この制度は、バス料金の半額を助成するもので5月末現在、134人から助成証明書の申請がありました。

今後も、本事業の利用促進を図るとともに、利用状況等を把握しより良い制度にしてまいりたいと考えております。



平成24年南伊豆町議会6月定例会から、行政報告については要旨を掲載することいたしました。

なお、全文は町ホームページ「広報みなみいずコーナー」でご覧いただけます。

一般会計補正予算の概要

町議会6月定例会において、「平成24年度一般会計補正予算（第2号）」が原案どおり可決されました。

商工費に1,872万6,000円追加するなど、合計で5,995万2,000円を補正し、歳入歳出総額を41億5,975万2,000円としました。

主な補正予算の内容は次のとおりです。

- 総務費
 - 自治総合センターコミュニティ助成事業補助金……590万円
(内訳)妻良区220万円、加納区190万円、南上地域振興協議会180万円
- 農林水産業費
 - 青年就農給付金……600万円
- 商工費
 - ・津波風評被害対策宣伝事業費……150万円
 - ・道の駅トイレ改修工事費 ……197万3,000円
(洗浄機能付便座、水道温water)
 - ・伊豆半島ジオパーク構想推進事業費等補助金……410万円
(あいあい岬開設等)
 - ・南伊豆町伊勢海老号運行補助金……258万円
(臨時列車運行・フェスタ開催時)
- 消防費
 - 防災資機材等整備事業費補助金……200万円
(避難路・避難地整備)
- 災害復旧費
 - 機械器具借上料……200万円



後期高齢者医療制度からお知らせ

1 被保険者証(保険証)について

後期高齢者医療制度の保険証は毎年8月1日に新しい保険証に代わります。8月1日からは、7月下旬までに郵送します緑色の新しい保険証をお使いください。

なお、8月1日以降、有効期限の切れた保険証(藤色)は無効となり使用できませんので、細かく裁断し住所・氏名などが他人に知られないよう破棄してください。



↑8月1日からは緑色の保険証をお使いください

3 保険料の決定について

平成23年中の所得に基づき、平成24年8月に平成24年度の後期高齢者医療保険料を決定します。4・6・8月の仮徴収により平成24年度分の保険料をすでに納付されている方は、決定した保険料額から4・6・8月に納めていただいた額を差し引いた、残りの額を納めていただくことになります。その際、決定した保険料額よりも仮徴収額が大きければ還付されます。

納付の方法は、年金差し引きによる特別徴収と、現金または口座振替による普通徴収があります。年金を受給している方は、法令により年金差し引きによる納付が原則となっていますが、申し出により口座振替による納付を選択することもできます。

2 減額認定証について

減額認定証の交付を受けることで次の場合に減額が適用されます。**対象者** 平成24年度住民税非課税(低所得者Ⅱまたは低所得者Ⅰ)の被保険者

減額の内容

- ①入院の際、減額認定証を医療機関の窓口で提示することで、食事代等が減額されます。
- ②外来受診の際に、ひとつの病院や薬局で1か月あたり支払う額の上限(自己負担限度額)が8,000円までとなります。

減額認定証交付の手続き

- ◎既に減額認定証をお持ちの方
現在お持ちの減額認定証の有効期限は平成24年7月31日です。上記対象者には、新しい保険証と併せて郵送しますので、申請する必要はありません。
- ◎減額認定証をお持ちでない方
上記対象者は、受診する前に必ず健康福祉課に申請してください。

平成24年度から 国民健康保険の保険税率が改正されます

国民健康保険は、市町村が運営する公的な医療保険で、加入者からの国民健康保険税と国・県・市町村の公的負担を主な財源として医療費の給付を中心とした事業を行っています。平成23年度の国民健康保険事業決算では、単年度の収支が赤字に転落するなど非常に厳しい財政運営となっているため、保険税率等の引上げをお願いせざるを得ない状況となりました。国民健康保険の安定運営のため、ご理解いただきますようお願いいたします。

改正の内容	医療分		後期高齢者支援金分		介護納付金分	
	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後
所得割率	6.2%	6.5%	2.3%	2.5%	1.6%	2.0%
資産割率	34.0%	32.0%	9.0%	11.0%	5.0%	7.0%
均等割額	16,500円	19,000円	6,000円	7,000円	8,000円	9,000円
平等割額	18,000円	21,000円	7,000円	8,000円	5,000円	7,000円
限度額	51万円	据置	14万円	据置	12万円	据置

病院や薬局へ支払う医療費の財源は、加入者のみなさんが納める保険税等で賄われています。適正な受診を心がけ医療費を大切に使いましょう。

住民基本台帳カードが町外に転出しても継続して利用できるようになります



住民基本台帳カードは、住所地の市区町村単位で交付をしています。これまでは、町外へ転出するときに、住民基本台帳カードを返納していただきましたが、7月9日以降は、転出先の市区町村へ継続利用の申請をすることで、引き続き利用できるようになりました。※印鑑登録につきましては、従来どおり、転出すると自動的に廃止となります。

問合せ 町民課 住民年金係 ☎62-6222

問合せ 健康福祉課 国民健康保険係 ☎62-6233



家庭の節電メニュー

「節電メニュー」の中から、ご家庭でできるものをチェックし、目安としてご協力をお願いします。

	チェック
エアコン  <ul style="list-style-type: none"> ■室温28℃を心がけましょう ■「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげましょう ■フィルターを掃除しましょう ■扇風機を活用しましょう 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
照明  <ul style="list-style-type: none"> ■日中は不要な照明を消しましょう ■白熱電球をLED電球に付け替えましょう 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
炊飯器  <ul style="list-style-type: none"> ■早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存しましょう 	<input type="checkbox"/>
冷蔵庫  <ul style="list-style-type: none"> ■冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間を減らし、食品を詰め込まないようにしましょう ■壁から離して設置しましょう 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
テレビ  <ul style="list-style-type: none"> ■省エネモードに設定し、画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消しましょう 	<input type="checkbox"/>
待機電力  <ul style="list-style-type: none"> ■リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切りましょう ■長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜きましょう 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

熱中症にご注意！

熱中症は、高温多湿な環境によって、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなって起こります。体温上昇、大量の発汗、めまい、倦怠感、吐き気、また重症になると意識障害やけいれんを引き起こします。特に、お年寄りや子どもは熱中症にかかりやすいため注意が必要です。

〈熱中症予防のポイント〉

- ★部屋の温度をこまめにチェック！
- ★無理な節電はせず、扇風機やエアコンを活用！
- ★喉が渇かなくても、こまめに水分補給！
- ★外出時は涼しい服装で、無理をせず、適度な休憩を！
- ★普段から栄養バランスの良い食事と体力づくりを！
- ★周囲の人に気を配り、熱中症予防の呼びかけを！



土屋 遼弥さん 池野 龍紀さん 小泉 怜唯さん 土屋 仁さん

日頃の練習成果を発揮

5月26日、第26回交通安全子供自転車下田地区大会が下田小学校体育館で行われました。町代表の南中小学校6年生チームが団体の部で見事優勝し、6月23日に静岡市で開催された県大会へ出場しました。

3.12^{kg}のマダイで優勝



マダイの部で優勝した三樹さん（神奈川県相模原市）

6月3日、遊漁船業組合主催の第18回黒潮フィッシング大会が開催され、県内外から95人が参加しました。釣り船13隻に分乗し、神子元島周辺で釣果を競い合いました。

今シーズン初の産卵



6月6日、弓ヶ浜海岸で今シーズン初めてアカウミガメの産卵が確認されました。ウミガメ保護監視員と職員が卵を保護するために砂の中から掘り出し109個あった卵をふ化小屋へ移しました。60日ほどでふ化し、8月上旬に子ガメの放流を予定しています。

これからもお元気で



元気に百歳になられた大矢さん

6月4日、上賀茂の大矢米子さんが百歳になられ町長がお祝いに訪問しました。大矢さんは毎日、折り紙で飾りを作るのが日課で、部屋の壁にはたくさんの作品が飾られていました。

弓ヶ浜オープンウォータースイムレース



6月24日、第3回弓ヶ浜オープンウォータースイムレースが行われました。全国から130人が参加し、個人400^m・1^{km}・2^{km}、団体リレーで競い合いました。各レースのスタート前には、ブラジルサンパダンスによる応援が催され、大会を盛り上げました。

今月のおすすめ



「野蛮人の図書室」
佐藤優著／講談社
何者かに騙されないで生きるために。簡単に教養らしきものを身につけたい前向きなサラリーマンに、人生を豊かにする本の数々をセレクト。



「塩麴のおかず甘麴のおやつ」
坂田阿希子著／家の光協会
万能調味料、「塩麴」「甘麴」を使った簡単にできるおかずとおやつレシピ集。初心者でも失敗なく作れる麴レシピを毎日の食卓に。



「脳は平気で嘘をつく」
植木理恵著／角川書店
「人はなぜだまされるのか」「仕事でウソは見抜けるのか」「誤解を修復する技術」など、仕事やプライベートで役立つ心理学テクニック。



「まいまいつぶる」
高峰秀子著／新潮社
女優として名作を次々発表、そして結婚。31歳、人生の大転換期に初めて綴った生い立ち、出演作のこと、逸話の数々。名随筆家の原点。



「坂の上の坂」
藤原和博著／ポプラ社
年金、雇用、医療、災害…国も会社もあてにならないこの時代、50代からの30~40年をどう過ごすのか？今こそ真の豊かさに舵を切れ。



「気分上々」
森絵都著／角川書店
「自分革命」を起こすべく親友との縁を切った女子高生、家系に伝わる理不尽な“掟”に苦悩する有名女優…。人生単純じゃないからおもしろい。



「あんぼん 孫正義伝」
佐野眞一著／小学館
命からがら難破船で対馬海峡を渡った一族は、豚の糞尿と密造酒の臭いが充満する佐賀・鳥栖駅前の朝鮮部落に、一人の異端児を産み落とした。



「ここはポツコニアン」
宮部みゆき著／集英社
“ポツネタ”が集まってできたそこここの世界「ポツコニアン」をより良い世界に創り変えるために選ばれた少年ピノと少女ピピの冒険の旅。



「いのちのかなしみ」
河原ノリエ著／春秋社
ひとりの女性が背負った「戦後」の時間と最先端のゲノム科学・遺伝子情報が出会うとき、私たちに“新たな問い”が生まれた。



「昭和の特別な一日」
杉山隆男著／新潮社
オリンピックがやって来た、あの頃のこと。開会式の空を飛んだもう一人のパイロット秘話、二度と戻らない日々の忘れられない光景。

— 新着図書案内 —

つながる読書	日垣 隆
花森安治のデザイン	花森安治
のこされたあなたへ	一条真也
老いの覚悟	下重暁子
傷ついた日本人へ	ダライラマ14世
残夢	鎌田 慧
田中角栄に訊け！	後藤謙次
年金は60歳からもらえ	森永卓郎
おじさん図鑑	なかむらるみ
母を棄ててもいいですか？	熊谷早智子
生きる	日本写真家協会
十二単衣を着た悪魔	内館牧子
十津川直子の事件簿	西村京太郎
使命	薬丸 岳
ベトロ	今野 敏

本の宅配をしています！

「近くに住んでいますが、車の運転はしないので歩いて行きます。お天気が良いとちょうど良い距離で気持ちいいですよ」

「いいですね。でも雨や風の強いときなど、図書館では宅配をしていますので、いつでも連絡をいただければ伺います」

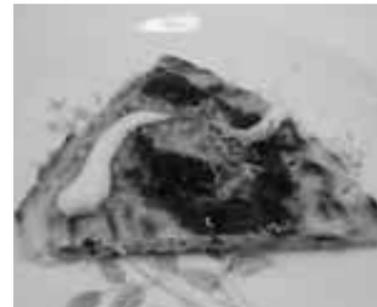
本の返却や貸出など、図書館では宅配サービスを行っていますので、ぜひご利用ください。



この車両で本をお届けします

健康レシピ

ひじき入りお好み焼き



ここがポイント！

- ・ひじきを入れると、カルシウムをたくさんとることができます。
- ・肉を入れなくても、ひじきの旨味でおいしく食べられます。

南豆味会 藤原てつ子

▷ 材料／5人分 ◁ (1枚分エネルギー819kcal、塩分1.5g)
お好み焼きの素 …250g いか ……100g
水 ……100ml 油 ……大さじ1
卵 ……1個 マヨネーズ ……大さじ1
キャベツ ……200g ソース ……大さじ1
ひじき(ゆで) ……40g 削り節 ……お好みで

▷ 作り方 ◁

- ①キャベツは千切り、ひじきとイカは2cm程度に切る。
- ②大きめのボウルに分量のお好み焼きの素と卵を入れ、水を少しずつ加えながら、かき混ぜる。
- ③①と②を混ぜ合わせる。
- ④フライパンに油を熱し、③をおたま1杯分広げ、形を丸く整えて弱火で焼く。
- ⑤生地がプツプツと穴があいてきたら、ひっくり返して5分程度焼く。
- ⑥火が通ったら、最後にマヨネーズ、ソース、削り節をかける。

毎月19日は食育の日！
～「いただきます」から始まる食卓～



ふじのくに暮らし推進隊
地域おこし奮闘記

ツリークライミングに挑戦！

ツリークライミングの講習に参加しました。



子どもから大人まで楽しめます

先日、ツリークライミングの講習に参加してきました。

『ツリークライミング』を直訳すると木登りですが、ここで言うツリークライミングとは、専用のロープとサドルを使って安全に木登りを楽しめるレクリエーションのことで、海外のアーボリストと呼ばれる人たちの高所の剪定などに使用している技術を応用しているそうです。

主に足の力を使って登っていくので、子どもでもビックリする様な高さまで登れます。普段の生活では見ることができない

景色と、自力で登ったという達成感は大きな魅力だと感じます。

そして、ツリークライミングを経験することによって『木』という存在がとても身近になります。木、山から人が離れ、山林の荒廃や獣害が問題となっている中で、人と山の距離が少しでも近づくきっかけになればとも思います。

自然豊かな南伊豆はツリークライミングに適した場所の宝庫です。今後はイベントの開催も考えていますので、よろしくお願ひします。(推進隊 成瀬)

25年度採用町職員募集

町では、次のとおり職員を募集します。

採用予定・人員 事務職員 若干名

受験資格 最終学歴が高校卒業程度の方で平成2年4月2日以降に生まれた方。※高校卒業程度の方とは高等学校を卒業した方、または専修学校（1年制）を卒業した方、もしくは平成25年3月卒業見込みの方（高等学校卒業程度認定試験「旧大学入学資格検定」合格者を含む）。ただし、日本国籍を有しない方および地方公務員法第16条の欠格条項に該当する方は受験できません。

受験申込・受付期間 7月17日(火)～8月6日(月)

①総務課において受け付けます。申込書は総務課に用意してあります。申込書を郵送請求する場合は、120円切手を貼った返信用封筒（角2：A4判用）を同封し、総務課総務係にて請求してください。

②郵送の場合は8月6日消印有効です。

試験日時、場所および方法

- ・第一次試験 9月16日(日) 静岡県下田総合庁舎(下田市中531-1)、教養試験40問(高卒程度・マークシート方式)
- ・第二次試験 第一次試験結果通知に併せて通知します。(面接試験等)

問合せ 総務課 総務係
☎0558-62-6211

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です ～犯罪や非行のない地域社会を築くための活動を推進します～

5月25日、法務大臣から保護司として井手伸二さんが委嘱されました。

保護司は、犯罪や非行に陥った人の更生を支援するとともに犯罪予防の啓発に努めます。



伊浜 井手伸二さん

シニアのアルファヨガ教室募集

アルファヨガとは、腹式呼吸による筋力アップ・リラクセス・ダイエット効果がある運動です。シニアの方でも楽しんで行うことができます。ぜひご参加ください。

対象 65歳以上の町民(要介護認定を受けていない方)

以下の方は参加できません

- ・腰痛がひどい
- ・正座ができない
- ・仰向けの姿勢がとれない
- ・両肩を上げられない

日時 8月22日、9月19日、10月24日、11月21日いずれも水曜日9:30～11:00

場所 武道館 **定員** 20名程度

参加費 1回300円

申込期限 7月20日(金)

申込み・問合せ 地域包括支援センター(健康福祉課内) ☎62-6233

県民の期待と信頼に 応える警察官募集!

平成25年4月採用予定の

- ・警察官A(大学卒業・卒業見込み)
- ・警察官B(高校卒業程度)

を募集します。

詳細は、下田警察署またはお近くの交番・駐在所までお問い合わせください。

問合せ 下田警察署
☎27-0110(内線211)

「文芸南伊豆第14号」 作品募集

町民の皆さまから作品を募集し編集発行します。我こそはと思う方、詳細を知りたい方はご連絡ください。

種目 (1人2種目以内)

- ・児童文学、小説、随筆、評論、戯曲、詩(小・中学生の詩も含む)
- ・短歌、俳句、川柳は1人5作品以内

応募資格 町内在住者、在勤者、または町文化協会会員であること

応募締切 8月3日(金)厳守

注意事項

- ・未発表作品を原則とします。
- ・400字詰め原稿用紙(B4判)とし、ボールペンまたは万年筆を使用してください。(ワープロ使用の場合はA4用紙20字×20行とする)
- ・住所、氏名、電話番号を必ず原稿に明記してください。
- ・応募原稿は返却いたしません。
- ・採用、不採用については「文芸南伊豆」の発行をもってかえさせていただきます。

問合せ・原稿送り先
〒415-0392 南伊豆町下賀茂315-1 教育委員会 文芸南伊豆担当
☎62-0604

町内の空き家物件を募集しています。「売りたい・貸したい」という所有者の方は、お気軽にお問合せください。
☎企画調整課 ☎62-6288

人権相談制度をご利用ください

7月1日、法務大臣から人権擁護委員として渡邊芳男さんが委嘱されました。

人権擁護委員は、差別やいじめ、児童虐待や高齢者・障害者などの人権に関する相談窓口となる方です。お気軽にご相談ください。

*人権相談日は、「お知らせ版」カレンダー(毎月15日発行)に掲載しています。



下賀茂 渡邊芳男さん

戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
石廊崎	鈴木龍陽	5.3	英俊・恵
湊	渡邊凜桜	5.7	涼・愛莉
加納	小瀧美咲	5.25	祐一・美苗

結婚お幸せに

地区	お名前(旧姓)	婚姻日
青市	藤原 海・美帆(笹本)	5.2

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
毛倉野	山本 藤子	92	5.1
湊	宇津野節子	66	5.3
吉祥	山本 静江	98	5.7
青市	鈴木 宇吉	74	5.9
下流	吉田 らく	91	5.11
青野	光井 長吾	90	5.12
手石	鈴木 英子	76	5.18
市之瀬	山本 光子	83	5.18
手石	杉本 洋子	69	5.21
吉祥	外岡 昭	78	5.26
加納	中村 藤雄	88	5.28
湊	大野 和美	78	5.30

平成24年5月1日から5月31日までに届出のあったもの(敬称略)
※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時に申し出ください。

人の動き

(6月1日現在)

世帯数 3,996世帯
人口 9,273人(-31)
男 4,440人 女 4,833人
----- (5月中) -----
転入 15 転出 35
出生 3 死亡 14

町営南上プール 7月26日オープン

町営南上プール(青野)を、下記期間で開放します。注意事項を守って楽しく遊ばしましょう。雨天の場合は開放しませんのでご注意ください。

期間 7月26日(木)～8月29日(水)
9:00～12:00、13:00～16:00

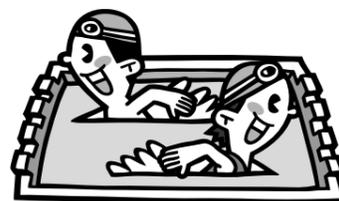
下記の方は遊泳をお断りします

- ①酒気を帯びた方、体調の悪い方
- ②危険物を所持する方
- ③著しく風俗を乱す服装の着用者
- ④保護者の同伴がない就学前児童

※駐車場は、プール下の駐車場、南上小学校の駐車場をご利用ください(グラウンド内への駐車はご遠慮ください)。

※スイミングキャップを必ずご持参ください。貸出しは行っていません。

問合せ 産業観光課 農林水産係
☎62-6300



こどものきこえ相談会

きこえやことばの心配なお子さんの相談会を行います。聴力測定や相談等は無料です。お気軽にご相談ください。

日時 7月26日(木)、27日(金)
10:00～12:00、13:30～16:00

場所 県立沼津聴覚特別支援学校(沼津聾学校)

申込方法
7月13日までに、当校へ電話かFAXにて連絡(受付時間9:00～16:50)

申込み・問合せ
県立沼津聴覚特別支援学校
☎055-921-3398
FAX055-923-5327

あなたがつらいとき、近くにいます。

毎月10日は、フリーダイヤル
0120-738-556
8:00～翌日8:00
(24時間・無料です)

ひとりで悩まないで、こころの苦しみを、お話しください。
自殺予防 いのちの電話

姉妹都市だより 長野県塩尻市

第59回 高ボッチ高原観光草競馬大会

南伊豆町の皆さんこんにちは。

今年も、塩尻市の夏の一大イベント「高ボッチ高原観光草競馬大会」が8月5日(日)に開催されます。

この大会は、真夏でも爽やかな風が吹き抜ける標高1,600mの高ボッチ高原で行われ、国内最高地で開催される草競馬大会としても有名です。全国各地から約80頭のサラブレッドやポニーが集まり大迫力のスピードレースや愛嬌たっぷりのレースを繰り広げます。

ポニー乗馬体験、ちびっこ馬車、高原散策ガイドも用意しています。

爽やかな信州の高原ならではのイベントに、ぜひお越しください。

問合せ 塩尻市観光課
☎0263-52-0280





広報誌を音訳している野村さん、渡邊さん

音訳とは、印刷物の情報を視覚から取得することが困難な方のために、その情報を音声化(CD)することです。

野村さんが、「広報みなみいず」と「議会だより」の音訳を始めてから今年でちょうど10年になります。

始めたきっかけは、読み聞かせに参加していた図書館から紹介を受け、前任者から引き継ぎました。

長年、一人で音訳に取り組んでいましたが、今年

まちの人

広報みなみいずを音訳しています

野村^{えみ}莞^こ子さん(市之瀬)

渡邊悦子さん(湊)

の5月から渡邊さんが加わり、強力な仲間ができてとても助かっているそうです。

音訳したCDは、ただ聞き流すだけでよいので、目の不自由な方に限らず、高齢で小さな字が読みにくくなった方、病床にある方、ページをめくるのが困難な方たちにも、ぜひ活用していただきたいです。

広報みなみいずなどの音訳CDは、図書館に置いてありますので、お気軽にお問い合わせください。

健康一口メモ

高齢者の転倒予防が課題

町で介護保険を申し込む病気の第1位は「骨・関節疾患」です。

町民の3人に1人が一人暮らし、高齢者世帯という中、転倒・骨折し、退院後自宅での生活が難しく、「ヘルパーさんに買い物や掃除・調理を頼みたい」「一人で入浴が怖くてできない」などの理由から介護保険を申し込む方が多い現状です。

町では転倒予防のため、シニア向けに「トリム教室」「ヨガ教室」「太極拳教室」「水中運動教室」などの運動教室を開催しています。楽しみながら脚力をつけ、転ばない体づくりをしませんか。

問合せ 地域包括支援センター(健康福祉課内)
☎62-6233

スマイルキッズ



下賀茂 竹本^{こう}虎^が雅くん (1歳6か月)

「ワンワンとニャーニャが大好き。ひいおばあちゃんと、ニャーニャにまんまをあげてるよ」

広報みなみいず 7月号

発行日/平成24年7月1日
発行/南伊豆町 編集/企画調整課 印刷/脩サン印刷
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
ホームページ
<http://www.town.minamizu.shizuoka.jp/>

編集後記

宮城県岩沼市が、本町農業振興会から贈られたヒマワリの種を仙台空港滑走路付近にまいたと便りが届きました。津波被害のがれき置き場だったこの地一面に南伊豆のヒマワリが元気に咲きますように。☺

広報みなみいずは、再生紙を利用しています。

平成 24 年南伊豆町議会 6 月定例会の開会にあたり、次の 6 項目について行政報告を申し上げます。

1 防災対策について

(1) 平成 23 年度実績報告

平成 23 年度においては、東日本大震災の教訓を生かし、予想される東海地震対策に取り組んでまいりました。

特に、津波対策の充実を図るため、緊急雇用による海拔調査を実施したほか、国土地理院の資料を基に海拔表示図を作成し、今年度に入り、町内全世帯、公共機関及び関係団体等へ配布したところであります。

また、防災ラジオ 1,000 台を購入し、希望者への販売を行うとともに、備蓄食料確保対策として非常食 12,000 食及び広域避難所用発電機 10 台の購入整備、エリアメール配信システムの導入、さらに津波監視カメラ設置工事に着手するなど、各種の防災対策に取り組んでまいりました。

(2) 南海トラフ巨大地震シミュレーション

3 月 31 日の内閣府発表の南海トラフ巨大地震シミュレーションでは、当町の場合、最大震度 6 強、最高津波高 25.3m と

いう想像をはるかに超えるものでありましたが、この推計は、「発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波」に相当するもので、「現時点における最新の科学的知見に基づき、最大クラスの地震・津波を想定したものであって、南海トラフ沿いにおいて次に起こる地震・津波を予測したものでもなく、また、何年に何パーセントという発生確率を念頭に、地震・津波を想定したものでもない」とされております。

町といたしましては、今後、内閣府から示される 10m メッシュの津波高及び浸水域、静岡県第 4 次被害想定及び静岡県地域防災計画等と整合性を図りながら、南伊豆町地域防災計画の全面的な見直しを行うなど、更なる防災対策の充実を図ってまいります。

(3) 平成 24 年度事業

東日本大震災の教訓や南海トラフ巨大地震シミュレーションを踏まえ、5 月 1 日付けで、総務課内に防災室を設置し、防災係 2 人体制から室長以下 3 人体制を敷き、今後の防災対策の強化に努めているところであります。

平成 24 年度事業といたしましては、各家庭への海拔表示シールの配布、電柱への海拔表示板設置、各海岸地区への

海拔表示案内板設置などに取り組むとともに、本定例会南伊豆町一般会計補正予算（第2号）に計上いたしました、自主防災会が行う避難地・避難路整備に対する補助制度の創設など、実施可能な対策を積極的に推進してまいりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

今後とも、「自助、共助、公助」を合言葉に、災害に強い安全・安心のまちづくりを推進してまいります。

2 産業振興について

（1）平成23年度利子補給の実績

平成23年度においては、当初半年間の予定を1年間に期間を延長し、「中小企業事業資金融資制度」に係る小口資金利子補給、短期経営改善資金利子補給を実施いたしました。

上期利用実績は、小口資金47件の借り入れに対して68万円余の利子補給、短期経営改善資金が平成22年度までの借入に係る部分に対して、1万円余の利子補給となっており、下期利用実績は、小口資金59件の借り入れに対して年度末に144万円余の利子補給となっております。

また、東日本大震災に係る緊急経済対策として、静岡県が新設した「中小企業災害対策貸付資金制度」に係る利子補給

制度につきましても、町単独事業として実施したところであり
ます。

「中小企業災害対策資金」に係る実績は 11 件、1 億 3,200
万円の借り入れに対して 161 万円余の利子補給、「経済変動対策
資金」に係る実績は 13 件、1 億 6,840 万円の借り入れに対して
165 万円余の利子補給となっております。

小口資金を含めた、平成 23 年度の融資総額は、4 億 1,324
万円にのぼり、利用しやすい制度の提供ができたものと考えて
おります。

(2) プレミアム商品券発行支援の実績

商工会が、平成 23 年 11 月 1 日から平成 24 年 3 月 10 日まで
町内参画事業所 151 店舗で利用できる 15%の割増付き商品券
5,000 万円分を発行し、町では、当事業におけるプレミアム
商品券の発行経費の一部を助成し、支援を行ったところですが、
利用期間中の実績は、5,719 万円で、99.5%の利用率となりました。

内訳は、地元商店での利用が 54.4%、大型店舗での利用が
45.6%で、地域購買力の促進が図られ、町内商業の活性化に
寄与できたものと考えております。

(3) 観光客等の入込み状況

平成23年度の観光客等の入込み状況がまとまりましたので、報告いたします。

[観光客等の入込状況]

(単位：人)

区分	平成23年度	平成22年度	前年度比 (%)	
	4月～3月	4月～3月		
宿泊施設	民宿宿泊客	56,885	75,833	75.01
	旅館・ホテル等宿泊客	151,148	159,747	94.62
	小計	208,033	235,580	88.31
観光施設	下賀茂熱帯植物園	27,014	26,981	100.12
	波勝崎苑	31,145	36,130	86.20
	石廊崎遊覧船	24,364	31,252	77.96
	一條竹の子村	1,076	2,055	52.36
	天神原植物園	3,897	3,674	106.07
	伊豆下田CC	23,217	23,058	100.69
	小計	110,713	123,150	89.90
温泉施設	銀の湯会館	64,739	69,510	93.14
	みなと湯	27,978	30,656	91.26
	小計	92,717	100,166	92.56
合計	411,463	458,896	89.66	

(資料：観光交流客数調査)

分野別に見ますと、宿泊施設につきましては、民宿宿泊客数が厳しいものの、全体で前年比88.31%と、東日本大震災の影響により当初3割は減少するのではないかと心配されておりましたが、施設などの関係者等の努力もあり、最終的には約12%の減少で止まったところであります。

また、観光施設が全体で89.90%、温泉施設が92.56%と、宿泊施設とほぼ同様の傾向となっております。

なお、「第 14 回みなみの桜と菜の花まつり」につきましては、近年例を見ない寒波の影響により開花が遅れ、青野川沿いの桜並木が満開になったのは、3月に入ってからで、例年と比較し、10日以上の遅れとなりました。

このため、まつり期間を1日延長し、3月11日までとしましたが、来場者が平成22年度の37万人に比べ、28%減の26万7,000人となり、厳しい結果となりました。

今後は、イベントのリニューアルに係る調整や資源保護等の新たな課題も含め、誘客につながる事業などについて、関係団体等と対策を検討してまいりたいと考えております。

(4) 平成24年度事業

平成24年度事業につきましては、昨年度にも増して、海、山、花、温泉等、当町の豊かな自然を活用した観光シーズンの通年化と、オープンウォータースイムレース等のスポーツを核とした観光の国際化に力を注いでまいります。

また、これまで直営としておりました銀の湯会館及びみなと湯につきまして、今年度から指定管理者制度を導入したところですが、民間経営技術の活用による利用者の増加や、観光施設として今まで以上に重要な施設となっていくことを大いに

期待しております。

さらに、当町に 25.3 メートルの津波が襲来する可能性があるという内閣府発表に対する風評被害が懸念されておりますので、観光宣伝費や温泉の価値を国際的に広めるためのモデルケース構築に係る経費、観光協会が行う誘客事業「伊勢海老号」の運行支援や、ジオパーク普及啓発に要する経費等を本定例会南伊豆町一般会計補正予算(第2号)に計上いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

当町を取り巻く状況は、依然として厳しいものがありますが、今後とも、観光振興に加え、利子補給制度の活用や、今年度当初予算に計上いたしました商工会が行うインターネットを利用したショッピングモール等への支援などを通じて、産業の振興を図ってまいりたいと考えております。

3 認定こども園の運営状況について

当町における初の幼保一体型施設であります「南伊豆認定こども園」は、4月5日に、第一期となります新入園児 162 人をはじめ、保護者、地域の方々等のご出席の下、開園式並びに入園式を挙行了したところであります。

県内産の木材をふんだんに取り入れた、温もりと愛情に

あふれた新たな施設で、本年度の園目標を「笑顔あふれる
みなみっこ」とし、園長の指導の下、入園児の安全はもとより、
保護者の方々の信頼にお応えし、子どもたちの健やかな育成に
貢献できるよう、入園児の保育並びに教育にあたっております。

また、心配されます津波等への対応としましては、近くの
山林所有者の方にご理解をいただき、緊急時の避難地として
ご協力いただけることを確認しております。

さらに、建設時におきまして、周辺の方々からご意見を
いただきました送迎時の交通渋滞等につきましても、保護者の
方々のご協力により、目立った問題は発生しておりませんが、
円滑な通行を確保するため、今後は石井区内 14 号線の拡幅等の
周辺整備に着手してまいります。

なお、併設されました「地域子育て支援センター」は、多くの
方々に利用していただき、4月 11 日の利用開始から 5 月 31 日
までの延利用組数は 289 組に達し、1 日の平均利用は、約 8.5 組と
なっております。

今後とも、地域子育て支援センターだより「えくぼ」を毎月
発行するなど、町民の皆様への情報提供を行い、利用促進に
努めてまいります。

4 国民健康保険税率等の改正について

国民健康保険制度は、唯一の地域保険として、国民皆保険制度を支える重要な役割を担ってきておりますが、近年、高齢者の加入割合の高さや低所得者層の増加など、構造的な問題を抱え、疾病構造の変化や医療技術の高度化に伴う医療費等の増加も加わり、国民健康保険財政が圧迫されております。

当町の国民健康保険の財政状況は、後期高齢者支援金や介護納付金の増加、国民健康保険税の算定基礎である課税所得の減少に伴う税額の落ち込みから、悪化の一途をたどり、平成23年度決算では、単年度収支が赤字に転落し、大変厳しいものとなっております。

また、国民健康保険の積立金である診療報酬支払準備基金も、税率等の上昇を抑制するため、平成15年度から総額1億7,500万円の取崩しを行った結果、平成23年度末での残高が4,740万円まで減少し、突発的な医療費の上昇に対応できなくなる恐れも生じております。

平成24年度の財政見通しにつきましては、前年度繰越金の減少、高齢化による後期高齢者支援金や介護納付金の増加、経済の低迷による課税所得の更なる落ち込み等のマイナス要因が多く、保険給付等に必要な財源の確保が困難な状況になって

おります。

このようなことから、事業の安定運営を図るため、税率等の改正を内容とする南伊豆町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案を本定例会に提案いたしました。

この条例案は、町内の経済状況を勘案した中、税率の改正幅を最大限抑制することを念頭に置き、当初予算において、一般会計から国民健康保険特別会計に総額 1 億 1,028 万円の繰出金を編成した中で、平均改定率を 9.68%とするとともに、平成 25 年度から、各納期ごとの納付額軽減を図るため、年間 6 回の納期を 8 回に改正することも盛り込んでおります。

国民健康保険事業の財政状況は、年々厳しさを増しておりますが、安定運営のため全力を尽くしてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

5 新病院開院及び高齢者通院バス料金助成事業について

(1) 下田メディカルセンター（SMC）及びみなとクリニック の開院

本年 5 月 1 日に開院いたしました下田メディカルセンターは、内科や外科、小児科など 15 科を標榜し、常勤医師 10 人、非常勤医師 19 人、看護師等 65 人の陣容で、C T ・ M R I ・ 血管造影

装置など、最新の高性能医療機器も備え、質の高い地域医療を提供してくれるものと期待をしているところであります。

また、5月2日には、共立湊病院跡地での医療の継続と介護老人保健施設事業の施設基準確保のため、「なぎさ園」の隣接地に、内科の診療所として、下田メディカルセンター附属みなとクリニックも開院いたしました。

常勤医師1人、非常勤医師1人、非常勤看護師2人のスタッフで、本院の下田メディカルセンターと連携し、きめ細かな地域医療を担ってくれるものと考えております。

(2) 高齢者通院バス料金助成事業

下田メディカルセンターへの通院に要する経費の負担軽減を図るため、路線バスを利用して通院される65歳以上の高齢者の方を対象に、通院バス料金の一部を助成する実施要綱を制定し、5月1日から施行いたしました。

この制度は、1通院に要したバス料金の半額を助成するもので、5月31日現在、134人から、通院バス料金助成証明書の申請がありました。

今後、本事業の利用促進を図るとともに、利用状況等を把握し、より良い制度にしてまいりたいと考えております。

6 主要建設事業等の発注状況について

平成24年度4月から5月における主要建設事業等の発注状況は、次のとおりであります。

バッチ処理委託

10,866,000円 株式会社TKC

総合行政情報システム機器保守委託

2,197,572円 株式会社TKC

住民基本台帳システム改修委託

5,040,000円 株式会社TKC

総合行政情報システムソフト賃借

11,106,900円 株式会社TKC

総合行政情報システム機器賃借

5,979,960円 IBJL東芝リース株式会社

自主運行バス事業補助

65,927,000円 株式会社南伊豆東海バス

戸籍保守運用サポート委託

2,079,000円 富士ゼロックスシステムサービス株式会社

戸籍電算化総合システム賃借

3,603,600円 NTTファイナンス株式会社
東海支店

賀茂地区障害者相談支援事業委託

4,825,000円 医療法人社団 辰五会

賀茂地区障害者相談支援事業委託

4,400,000円 社会福祉法人 伊豆つくし会

在宅高齢者等食事サービス事業委託

10,886,000円 社会福祉法人 梓友会

元気アップ高齢者健脚教室事業委託

2,243,000円 社会福祉法人 梓友会

生活管理指導員派遣事業委託

3,736,576円 社会福祉法人 梓友会

広告(誘客)宣伝事業委託

9,400,000円 南伊豆町観光協会

南伊豆町営温泉施設指定管理委託

4,000,000円 大新東ヒューマンサービス
株式会社静岡支店

湯の花観光交流館指定管理委託

4,800,000円 南伊豆町観光協会

遊休農地美化業務委託

3,093,300円 南伊豆町農業振興会援農センター部会

南中小学校放課後児童クラブ業務委託

5,271,000円 NPO法人風楽

南伊豆町立小学校教育用情報機器保守点検委託

3,357,600円 有限会社村上書店

南伊豆町立中学校教育用情報機器保守点検委託

2,016,000円 株式会社下田OAシステム

普通河川小沢川河川改修工事

6,809,250円 長田建設工業株式会社

町道石井区内 14 号線測量設計業務委託

3,570,000円 株式会社ウエマツコンサル
テイング

南伊豆町クリーンセンター等維持管理業務委託

11,056,500円 株式会社ウォーターエージェンシー
静岡営業所

南伊豆町簡易水道等水質検査業務委託

5,792,955円 株式会社静環検査センター

以上で、平成 24 年 6 月定例会の行政報告を終わります。